

令和3年度大桑城跡 発掘調査の成果

市は、昨年度から、戦国時代に美濃国守護土岐氏が整備した大桑城の魅力を市内外に広くPRし、市の貴重な歴史資産を次世代に継承するため、国史跡指定を目指した調査を行っています。

今年度は、台所と呼ばれる場所と曲輪群で発掘調査を行いました。ここでは、その調査成果を紹介します。
園生涯学習課文化財調査室
TEL 32-9008



古城山大桑城跡から眺める朝日(日本の朝日百選認定)



発掘調査の位置

1 「伝「台所」」で庭園と 建物の痕跡を確認

伝「台所」は、大桑城内最大級の曲輪で、土岐氏の御殿があると想定されていた場所です。

今回の発掘調査によって、土岐氏に關係する庭園と建物と考えられる痕跡を確認しました。

曲輪のほぼ中央部で、黒色の扁平な玉石、池状のくぼ地、その側面に張り付けられた黄白色土、そして水の浸透を防ぐ鋼土を確認しました。このことから、ここに色彩を強く意識し、水をたたえた池を持つ美しい庭園があったと考えられます。

また、平らに削られた岩盤の中でも、特に丁寧に平らにされた岩盤を確認しました。これは柱を設置した痕跡と考えられ、建物があった可能性が高いと思われます。

山上の城で、池をとまなう庭園が発見されるのは極めて珍しく、土岐氏が美濃国守護として、また文化人として優雅に過ごしていたとみられます。



柱を設置するために平らに加工された岩盤が

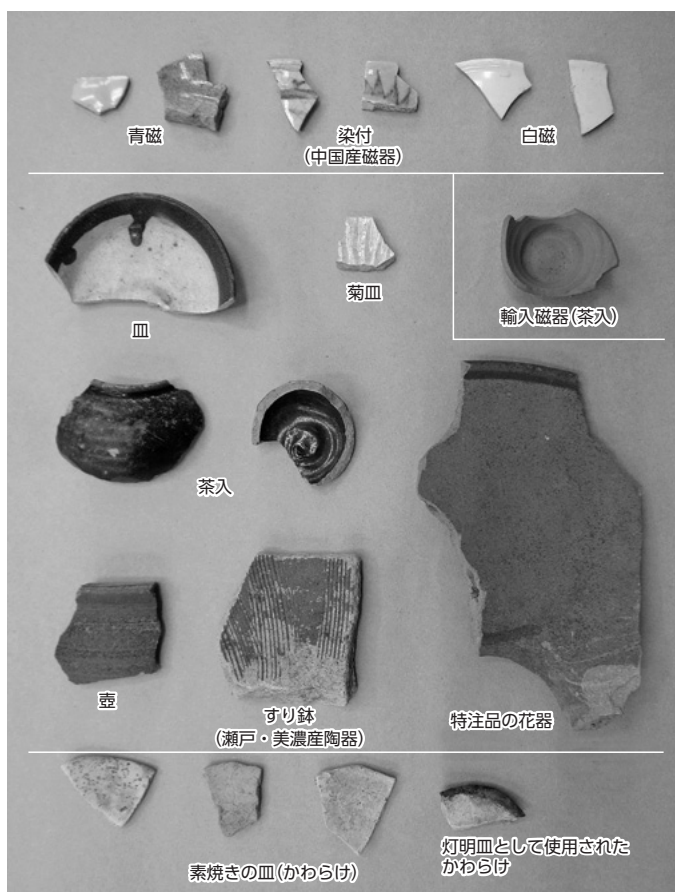


池の周囲を縁取っていたと考えられる玉石

2 曲輪群で250点以上の遺物が出土

曲輪群は、大小約40箇所の曲輪がひな壇状に築かれており、多量の陶磁器などの破片が採集されていることから、重臣の屋敷地があったと推定される場所です。

今回の調査では、曲輪群の中でも最大の曲輪を調査し、大桑城が機能していた時期の中国産磁器や瀬戸・美濃産陶器、かわらけなどの破片が250点以上出土しました。その中には輸入品の茶入や特注品の花器などの珍しいものも含まれており、土岐氏の重臣のようかなり高い地位の人が居住していたと考えられます。



曲輪群の出土遺物



多量の遺物が出土した曲輪群発掘現場

3 今後の調査展望

今回の調査では、土岐氏の庭園や珍しい遺物が見つかっていますが、大桑城の地中にはまだ見ぬ大発見が埋まっているかもしれません。

今後、発掘調査を行っていくことで、大桑城はどのような城だったのか、他の城とは何が違うのかなど、文化人土岐氏だからこそできた城づくりの全容に迫っていきます。また、発掘調査以外にも、縄張や伝承の調査も進めていく予定です。

4 結びに

今年度の大桑城跡発掘調査事業は、加藤精工株式会社さまからの企業版ふるさと納税での寄附と、株式会社高富運輸さまからの寄附を活用して行いました。改めて感謝申し上げます。

来年度以降も、国史跡指定に向けて調査を行っていきますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

大桑城跡発掘調査速報展 —文化人土岐さまの城づくり—

今年度の大桑城跡発掘調査で確認した庭園をはじめ、輸入品の茶入や特注品の花器を含む陶磁器などを紹介します。

美濃国守護土岐氏の山上での優雅な暮らしの一端を、この機会にぜひご覧ください。

- ▶日時 3月15日(火)~4月17日(日)
9時~17時(最終入館16時30分)
- ▶休館日 3月22日(火)、28日(月)、4月4日(月)、11日(月)
- ▶場所 古田紹欽記念館
- ▶入場料 無料

図生涯学習課文化財調査室 TEL32-9008

